

令和8年
3月定例会

No. 172

議会だより ましこ



民俗芸能発表会 雅楽の調べ（妙伝寺雅楽会）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ◆ 3月定例会審議結果 …………… 2～4 | ◆ 要望提出 …………… 11 |
| ◆ 一般質問 …………… 5～9 | ◆ 常任委員会活動 …………… 12～13 |
| ◆ 1月臨時会審議結果 …………… 10 | ◆ 町民の声 …………… 14 |

3月定例会

令和8年度予算を可決！

一般会計 107億4,000万円 特別会計 45億5,695万円
下水道事業会計 8億9,599万円

令和8年第50回定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で行いました。
条例11件、補正予算5件、新年度予算5件などを審議し、原案どおり可決しました。
町政に対する一般質問では、8名の議員が登壇しました。

令和8年度 当初予算

令和8年度当初予算は原案どおり可決しました。

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計		107億4,000万円	94億2,000万円	14.0%増
特別会計	国民健康保険	24億5,300万円	25億1,400万円	2.4%減
	後期高齢者医療	3億3,600万円	2億9,600万円	13.5%増
	介護保険	17億6,795万円	17億2,595万円	2.4%増
下水道事業会計		8億9,599万円	8億9,622万円	0.0%減

一般会計の主な使いみち

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| (1) 関係地域・関係人口創出事業 10,672万円 | (11) デジタル地域通貨事業 2,500万円 |
| (2) DX推進事業 1,362万円 | (12) DMO体制整備事業 1,932万円 |
| (3) 移住・定住促進事業 1,906万円 | (13) 起業、若手経営者等への支援事業 1,470万円 |
| (4) 子ども子育て支援事業 13,113万円 | (14) 役場周辺土地区画整理事業 19,383万円 |
| (5) 保育世代応援事業 1,689万円 | (15) 消防団新基準活動服・熱中症対策機材購入事業 497万円 |
| (6) 妊産婦応援事業 2,554円 | (16) 奨学金返還支援事業補助金 133万円 |
| (7) 高齢者福祉タクシー利用助成事業 369万円 | (17) 学校給食費無償化事業 11,003万円 |
| (8) 高温寒冷対策農業用資材購入費補助金 240万円 | (18) 小中学校ネットワーク改修事業 7,618万円 |
| (9) 農業経営収入保険加入促進事業費補助金 198万円 | (19) 小中学校LED化事業 1,196万円 |
| (10) 新規就農者等支援事業 1,443万円 | (20) 図書館整備事業 87,422万円 |

寄付受け入れ報告

●益子陶芸美術館の収蔵品充実のため

- ◆寄附者 群馬県桐生市天神町 細谷 桂三
- ◆寄附物件等 加守田章二 昌子 作 陶磁器18点 色紙 2点 1,680万円相当

条例の制定

● 益子町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

(全員賛成)

令和8年4月1日から、子ども・子育て支援法に規定する乳児等通園支援事業を実施する事業者のうち、国が定める「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準」に基づいて町が定める条例の基準を満たしていることが確認できた事業者は、「特定乳児等支援事業者」として、乳児等通園支援給付費が給付されることになることから、子ども・子育て支援法第54条の3において準用する同法第46条第3項の規定に基づき、内閣府令に準じて、本条例を制定するものです。

条例の改正

● 益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正 (全員賛成)

(全員賛成)

● 益子町一般職の給与に関する条例等の一部改正 (全員賛成)

● 単純労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町介護保険条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町下水道条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 (全員賛成)

● 益子町営住宅管理に関する条例の一部改正 (全員賛成)

規約の変更

● 芳賀広域行政事務組合規約の変更 (全員賛成)

(全員賛成)

令和8年4月1日から、規約第9条に掲げる会計管理者の任命にかかる規定を、組合長の就任・退任が会計管理者の在任に影響を及ぼさないよう、関係市町の会計管理者のうちから組合長が任命できるように改正するものです。

契約の変更

● 農村地域防災減災事業ため池防災工事円道寺池工事請負契約の変更 (全員賛成)

金額について、「7千18万円」となっていたものを「7千938万4千800円」に、

工期の終期について、「令和8年3月19日まで」となっていたものを「令和8年3月30日まで」に変更するものです。

土地改良

● 土地改良事業の施行 (全員賛成)

泥部上池、生田目上池及び生田目下池の農業用ため池の防災工事を目的とする土地改良事業を施行するものです。

議員発議

● 図書館整備特別委員会の解散について (賛成多数)

図書館整備特別委員会を解散し、町民の声を聞きながら、全員協議会などで意見や要望を述べるようにしてはと提案するものです。

令和7年度 補正予算

令和7年度3月補正予算（一般会計第8号、国民健康保険特別会計第3号、後期高齢者医療特別会計（第3号、介護保険特別会計第3号、下水道事業会計第2号）は全員賛成により可決されました。

会計区分	補正前の額	3月補正予算額	合計
一般会計	97億 7,510.2万円	4億 0,863.2万円	101億 8,373.4万円
特別会計	国民健康保険	△2,567.1万円	25億 1,492.1万円
	後期高齢者医療	408.3万円	3億 1,713.5万円
	介護保険	△414.6万円	18億 1,803.3万円
下水道事業会計	8億 9,511.9万円	△4,310.4万円	8億 5,201.5万円

議員発議 議案第24号 令和8年度益子町一般会計予算に対する附帯決議（賛成多数）

議案第24号 令和8年度 益子町一般会計予算に対する附帯決議

益子町図書館(仮称)整備について、以下の点を要請する。

記

- 1 図書館整備にあたり、これまでの経緯、整備内容、設計を基にした図書館躯体の説明、整備スケジュール等について、町民に説明責任を果たされたい。さらに、図書館運営や方針、機能等ソフト面について、広く町民の意見が反映されるよう協議の場を設けられたい。
- 2 図書館建設工事の発注に関しては、予算内で確実に執行できるよう、実施設計に基づく工事費、発注時期等を精査し、議会及び町民に発注状況、結果等を速やかに報告されたい。
- 3 図書館供用に際して利用者が安全に利用できるよう十分考慮し、建設予定地周辺を整備されることを要望する。

以上、決議する。

令和8年3月17日

益子町議会

※議員発議とは、議会の会議において、議員が「議案」を議長に提出することをいいます。

【第50回定例会 賛否一覧】（賛否が分かれたもののみ掲載）

番号	件名	議決結果	上野健	佐藤武	小野澤則子	岩崎秀樹	関絹江	大内千嘉夫	大関保	日渡守	小島富子	高橋家光	直井睦	星野壽男	加藤芳男	長岡景介
発議第1号	図書館整備特別委員会の解散について	原案可決	●	○	●	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和8年度益子町一般会計予算	原案可決	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発議第2号	議案第24号 令和8年度益子町一般会計予算に対する附帯決議	原案可決	●	○	○	-	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●

※表の見方 ○：賛成 ●：反対 -：議長のため採決に加わっていません

一般質問 8名の議員が登場！

※議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、広報広聴常任委員会において議事録に基づいて精査した上で掲載しています。

長岡 景介 議員 (6ページ)

- 1 昭和63年と平成8年に購入した北益子の町有地について
- 2 SHIBUYA QWSを安心して利用するための状況確認について

佐藤 武 議員 (6ページ)

- 1 人口減少対策について
- 2 健康寿命延伸について

小野澤 則子 議員 (7ページ)

- 1 令和8年度少子化対策事業について
- 2 益子町役場の女性職員の待遇について
- 3 男女共同参画推進事業の令和7年度の実績と、8年度の事業計画について

大内 千嘉夫 議員 (7ページ)

- 1 益子町国土強靱化地域計画の進捗状況について

小島 富子 議員 (8ページ)

- 1 旧老人デイサービスセンターおあしす館について
- 2 小中学校給食について
- 3 小中学校における教職員等の盗撮防止について

大関 保 議員 (8ページ)

- 1 小中学校の校則について
- 2 土砂の埋め立て及び盛り土について
- 3 大規模事業の財源について
- 4 企業誘致について

直井 睦 議員 (9ページ)

- 1 産業振興による町内経済政策について
- 2 子育て支援策について

関 絹江 議員 (9ページ)

- 1 悠和館について
- 2 図書館整備について

※質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内としています。

町議会ホームページから会議録がご覧いただけます。
(3月定例会の会議録は5月下旬に公開予定です。)

会議録検索はこちらから→



一般質問の映像DVDを中央公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。



長岡 景介 議員

「昭和63年と平成8年に購入した町有地について」

質問 購入目的は何か。購入金額はいくらで、どのように決めたのか。

町長 都市計画関係で役場駐車場用地の先行取得として、坪6万円で購入しており、所有者との協議である程度公平公正に決めたものと思われる。

質問 現在荒れ地だが、今後どう生かすのか。この問題から何を学ぶのか。

町長 財政計画を踏まえて計画的に活用の方角性について検討をしていきたい。また、今後町が土地を購入する際、その必要性や金額の妥当性を十分検討した上で取得するよう努めていく。

質問 活用を検討していくとのことだが、この都市計画を予定通り行うのか。

産業建設部長 役場周辺の都市計画が済んでから、用途やエリア取りの見直しを検討していく。

質問 県は都市計画をなかなか変えさせない印象があるが、なぜか。

副町長 地域の将来像を見通して決定しているのだから簡単には変えられない。しかしバブル期の計画であり、検討が必要な部分もあると思っている。

意見 大切な税金を使うのですから、先行投資は慎重に行わなければならない。この事例を忘れずに、我々も真剣に取り組んでいきたい。

「渋谷キューズを安心して利用するため」

質問 昨年4月にキューズで町民企画のワークショップが行われ、そこで使用したロゴが、今年2月にキューズ内の会社と弁護士から使用禁止の通告を受けた。いきなり弁護士から通告が来るのではなく、キューズのメンバー同士で話し合いができる風土はないのか。登録前のアイデアやロゴは守られるのか。

町長 残念な事案だと思うので、今後はそういう心配がないよう対応していきたい。

未来共創室長 今後キューズを利用する際の事前の相談の体制や情報の共有、利用にあたっての注意喚起も行っていきたい。



佐藤 武 議員

人口減少対策について

質問 人口減少の現状認識をどのように捉えているか。

町長 平成12年をピークに減少の傾向は続いており、住民基本台帳に基づく令和7年12月末時点の人口は2万9991人である。2050年にはピーク時の約半数となり、5割以上が65歳以上となる見込みである。様々な施策により定住人口を増やすことが重要であると認識している。

質問 若者・子育て世代の転入・定住対策についてどのように考えているか。

町長 移住支援金、家賃補助、住まいづくり奨励金等の支援を実施してきた。さらに次年度からは、子育て世代の移住に特化した新たな支援制度を創設する予定である。

質問 関係人口・二拠点居住の取組についてどのように考えているか。

町長 二拠点居住については、本町への完全な定住に至らない場合で

あっても、継続的に本町と関わりたい、応援したいと考える層として重要であると認識している。

健康寿命延伸について

質問 健康寿命に対する現状をいかに認識しているか。

町長 令和7年3月に栃木県が公表した介護保険の要介護度に基づく健康寿命によると、令和元年度では、男性が80・46歳、女性が84・21歳であったが、令和4年度は男性が79・4歳、女性が83・1歳であり、男女とも1歳程度低くなっている。

質問 要介護認定率の推移をどのように分析しているか。

町長 毎月、認定者数及び第1号被保険者数を集計し、認定率の推移を分析している。令和8年1月末現在、第1号被保険者における認定者数は998人で、65歳以上の人口7445人に対する割合は13・4%となっており、平成26年度以降概ね13%前後で推移していたが、近年は緩やかな上昇傾向にある。

質問 現役世代への健康づくり支援をどのように考えているか。

町長 生活習慣病等の早期発見、早期治療を目的として、19歳からを対象としたヤングミニ検診、40歳からの特定検診を実施している。



小野澤則子 議員

少子化対策事業について

質問 少子化対策はどのように推進するのか。

町長 結婚出産、子育てと出会いの支援の充実に努める。

質問 少子化と子育て支援は厳密には違う。なぜ結婚しないのかなど、現状を把握しているのか。

福祉子育て課長 機会があれば、アンケート等を行なっていきたい。

質問 状況が許せばもっと子どもを欲しい方も多いと思われる。最新の情報で解像度を高くして対策を立てていただきたいと考えるがどうか。

総合政策課長 新しい情報にアップデートして対応していきたい。

役場の女性職員の待遇について

質問 管理職にある女性の割合をどのように増やしていくのか。

総務課長 採用の時点で、男女の数は拮抗しているので、今後バランスは取れてくるのではないかと。

質問 産休育休を取得して復帰した場合、昇級昇格は同期の男性と遜色なく同じであるのか。

総務課長 復帰する時に、その間も勤務していたとみなすが、人事評価には反映しない。昇給には影響は出ないが昇格では一定の率で勤務していない期間を在籍日数から除くので若干違う。

質問 子を産み育てていくことはスキルアップだと思う。仕事に関する深さが違ってくる。町独自の裁量の余地はあるのではないかと。

副町長 勤務し続けてきた方とのバランスもある。一定の考慮を入れた制度であることをご理解いただきたい。

男女共同参画社会の推進について

質問 性別や年齢による固定的な役割分担意識があると、公平な組織づくりにはならない。それを目的とした講演を考えていただけなのか。

教育長 両性のプラスになることを目標に進めていきたい。

質問 啓発活動に予算付けを考えたいただきたいがどうか。

生涯学習課長 内部で相談をして検討、要望していきたいと考えている。



大内千嘉夫 議員

「益子町国土強靱化地域計画」の進捗状況について

質問 町のハザードマップの浸水想定区域への取組と、今後の対応策をどのように考えているか。

町長 水害が起らないよう、小貝川や小貝川に流れ込む河川の流量確保として、国や県に土砂撤去を依頼して対応いただいている。今後は、流域治水の観点からも、国や県と情報共有を図りながら、上流域で雨水を一時的に貯留するなど水害対策の検討をしていく。

質問 七井駅北側の浸水想定区域の浸水対策はどのようなになっているか。

産業建設部長 小貝川、それから小宅川、合流地点の浚渫を先にやり、駄目であった場合に調整池の検討をしようという経緯がある。

質問 災害時の避難路の確保に向けて、埋立て工事の土砂運搬による、町道のへこみやクラックの予防策と、今後の取組はあるのか。

町長 土地利用の協議時に、原因者に修繕等の対応をお願いしている。今後の取組については、土砂を運搬する車両を規制することが難しいことから、適正な積載により道路の損傷が起らないよう、警察へ取締まりなどを引き続きお願いしていく。

質問 町道17号線は痛みが酷く、災害時に避難どころでない状況である。脆弱性評価・リスクシナリオはチェックされたのか。

生活環境部長 建設課と環境課で現場を確認に行ったが、ある程度時間が経ってからだったので、今後はもっと早い段階で情報をつかんだ時点で関係課と情報共有して対応していきたい。

質問 公共施設の耐震強度対策、震災による災害を少しでも軽減する予防策はあるか。

町長 益子町国土強靱化地域計画において、防災拠点機能の確保及び防災上重要な町有建築物の耐震化を目的として推進することとしているほか、益子町公共施設総合管理計画において、耐震化の実施方針を定めている。一方で、町有施設全般についても、改めて今後の在り方を見直しが必要な状況となっているので、今後の需要など検討した上で耐震化を進めていく。



小島 富子 議員

旧老人デイサービスセンター
おあしす館について

質問 ケーブルテレビ株式会社へのおあしす館貸し出しの経緯は。

町長 同施設の指定管理者より事業の廃止の申し出があり、公益性の高いケーブルテレビ会社に有償での貸付けを行うことにした。

質問 団塊の世代が後期高齢者となっているが、町内介護施設の不足は生じないか。

町長 現時点では不足は生じない。
質問 用途変更して貸出するメリットはあるか。

総合政策課長 テレビ関係の事業のほか、インターネットや携帯電話サービスを始めると伺っており、町民に利便性が図れると考える。

質問 開局への進捗状況は。
総合政策課長 4月から一部開局し、徐々に町内へ開局と伺っている。

質問 ケーブルテレビは無料か。
総合政策課長 テレビのみの場合NHK受信料とは別に毎月3千円台のサービス料金がかかると伺っている。

今後費用が発生する時には議会にも説明させていただきたい。
意見 もう少し町民に丁寧な情報発信や説明をお願いしたい。

小中学校給食について

質問 本町の小中学校給食無償化への取組はどのようなものか。

教育長 令和8年度は小中学校とも保護者の負担なく提供していく。

質問 令和9年度以降の見通しは。
教育次長 国の法改正や状況等を踏まえ今後検討していく。

意見 父兄の皆様驚く方も出てくると思われるので、今後とも国や県への働きかけをお願いしたい。また、これまでの問題や課題を解決し町の宝である児童生徒全員が同じくスタート出来る事をお願いしたい。

小中学校における教職員等の
盗撮防止について

質問 本町の小中学校の現状は。

教育長 法令遵守はもとより、いかなる場面でも高い倫理観を持ち行動するよう指導しており、これまで盗撮は確認されていない。

質問 盗撮防止への対策は。

教育長 各学校でルールづくりをするよう指示しており、最終退勤時は複数で行い、校内に一人で残ることがないように実施している。



大関 保 議員

小中学校の校則について

質問 校則の合理性の点検や子ども意見表明の機会確保の為、今後校則を改訂する考えはあるか。

教育長 校則は児童・生徒が健全な学校生活を送りよりよく成長・発達していくためのものであり、学校の教育目標の方針に沿って、随時必要に応じて改訂すべきと認識している。

質問 校則の合理性の確認や子どもの意見尊重の機会は考えているか。
教育長 子供達が安心して学校生活を送れるよう教員からの押しつけではなく子供達からの自由な発想、意見を取り入れながらと考えている。

土砂の埋立て及び盛り土について

質問 新福寺付近の大規模埋立ては許可に基づいて実行されているか。

町長 県の許可の面積を大きく上回っている場所が確認され、現在は是正に向けた対応を進めている。

質問 町道の損傷により、鉄板が敷いてあるが通行に支障はないか。
町長 通行に支障があると考えて

おり安全対策について対応している。
質問 栗生地区の盛り土は、豪雨時などに崩れて危険ではないか。

町長 林地開発許可制度に基づき県と連携し、施工状況や防災対策の実施状況を確認しながら災害リスクの低減に向けて対応していく。

質問 無許可で埋め立てられた土壌汚染の確認や災害防止等、町はどのように対処するのか。

生活環境部長 無許可土砂搬入の全量撤去及び森林の回復を県に要望し、現地確認の為町の職員が県の職員と同行する等、対策を強化したい。

大規模事業の財源について

質問 図書館整備の財源は何か。

町長 国の交付金の他、元利償還に対し交付税措置がある町債及び公共施設整備基金を活用していく。

企業誘致について

質問 産業団地の進捗状況は。

町長 土地所有者の意向を確認しているところである。

質問 企業はスピードが命、先に用地を確保して進めるべきでないか。
観光商工課長 来年度用地の再鑑定を実施し、交渉を進めたい。

副町長 塙の産業団地については土地単価の想定と造成にかかる費用を試算したら2億以上の差があった。



直井 睦 議員

産業振興策による

町内経済の政策は

質問 益子町の町内総生産、町民所得額等、町内経済の状況についてどのような見解か。

町長 市町村民経済計算によると令和4年度の町内総生産は前年比5.9%増加しており、町民所得においても1.5%増加している。コロナ禍以前の水準に回復しており、概ね堅調に推移していると認識している。

質問 雇用の促進と町内事業者支援の取り組みについて、課題をどのように捉え、課題解消に向け、新たな支援策を講じるのか。

町長 地場産業育成補助金や起業支援補助金、各種融資制度の活用等により経営支援に取り組んでいる。課題は、益子本通り等の中心市街地に空き店舗が増加していること。今後は、空き店舗等の利活用を促進する支援策を講じていきたい。

質問 農業による町内循環経済について、これまでの課題を踏まえ、どのように推進する考えか。

町長 これまで地産地消拡大や規格外品を活用した6次産業化商品の開発に取り組んできた。課題は、地場農産物の消費拡大やブランド力の向上、新商品開発による高付加価値化等と認識している。

これからの子育て支援策は

質問 電子母子手帳、子育て支援アプリ導入に取り組まれているか。

町長 現在、他市町の導入事例を比較検討しているが、予防接種のDX化や子育て支援データベース等、国の動向を見ながら検討していく。

質問 令和8年度より実施する、こども誰でも通園制度について、実施体制等は構築されているか。

町長 4月1日からの事業実施に向け準備している。町、実施事業者、利用者それぞれが国の総合支援システムを利用して運用する予定である。

質問 町で保育園、認定こども園の入園児の定数管理をしているが、少子化が進む現状において、今後の方針をどのように考えているか。

町長 子ども子育て会議の意見を踏まえ、実利用定員を公平に設定している。少子化が進む中、施設間の偏在を防ぎ、町が利用調整を行い、保育提供体制の確保に努めていく。



関 絹江 議員

悠和館について

質問 開業当初の令和元年から毎年赤字となっている事をどう思うか。

観光商工課長 いろいろ手法、努力をしながら宿泊者増に努めてきたが残念ながらずっと赤字が続いている。

質問 赤字に対しての対策は。

観光商工課長 宿泊客増についてPR活動、SNS等、各旅行会社に記事等々の掲載をお願いしている。

質問 町として赤字が続いても続けるつもりなのか。

町長 泊まる場所をつくることは益子の観光に対する課題である。

図書館整備について

質問 多くの町民の反対があっても図書館を建設する考えなのか。

町長 本町が選ばれる町になるため、子供たちの教育環境の充実、未来を担う人材育成、全ての人が集まる知の広場として早期に図書館整備を進めていく。

質問 国の交付金は確定している

のか。

産業建設部長 国会で審査中ということでは確定はしていない。

質問 上限の50%が来なかったらどうするつもりなのか。

副町長 国庫補助事業の補助率は基本的に最大限の率で必ずしも来るものではない。最大限の努力をしてその率に届くよう進めていく。

質問 起債（借金）はどのくらいで返す見込みなのか。

総合政策課長 20年程度を想定している。

質問 年間の事務管理費は。

生涯学習課長 精査は令和8年度において行っていく。町の予算の1%以内を想定する。

質問 子供や孫たちに借金を背負わせるのは間違っていると私は思うが、そうは思わないのか。

副町長 地方債の考え方は生活費の赤字を借りるわけではなく、例えば家を建てる時のローンと同じ類い。

質問 図書館を建てて財政がどうしようもなくなった時に町長はどのように責任を取っておつもりですか。

町長 消滅都市から脱却したい。その思いで図書館を建設します。

意見 図書館を建て人口が増えるとは思えない。公民館や各学校の図書室を整備、図書を充実させれば金額も少なく借金も増えない。いまま一度町民の声を聞きお考え頂きたい。

1月臨時会

物価高騰対応重点支援増額

令和8年第49回臨時会が1月29日に開かれ、一般会計補正予算（第6号）の専決処分を審議承認、一般会計補正予算（第7号）などを審議可決しました。

令和7年度 補正予算

◆一般会計補正予算（第6号）の専決処分を全員賛成により承認しました。

会計区分	補正前の額	補正予算額	合計
一般会計	97億 0,046.2万円	1,354.7万円	97億 1,400.9万円

【補正予算の主な内容】 ・衆議院議員総選挙 1,354万円

◆一般会計補正予算（第7号）は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	補正予算額	合計
一般会計	97億 1,400.9万円	6,109.3万円	97億 7,510.2万円

【補正予算の主な内容】 ・公共交通等燃料費及び物価高騰対策交付金 122万円
・物価高対応子育て応援手当事務事業費 5,584万円
・土地改良施設電力価格高騰対策支援事業補助金 99万円

損害賠償の額の決定

令和7年9月17日の公用車による益子地内で発生した交通事故について、損害賠償の額を272,446円に決定しました。

基本協定の変更

●益子町益子浄化センター建設工事（沈砂池ポンプ棟新設）委託に関する基本協定の変更（全員賛成）
協定の金額「8億円」となっていたものを、「7億7千690万円」に変更するものです。

契約の変更

●農村地域防災減災事業ため池防災工事法堂寺上池工事請負契約（全員賛成）

契約の金額「5千247万円」となっていたものを「5千841万円」に、工期の終期について、「令和8年3月19日まで」となっていたものを「令和8年3月30日まで」に変更するものです。

●益子町立中学校体育館空調設備設置工事請負契約の変更（全員賛成）

工期の終期について、「令和8年2月27日まで」となっていたものを、「令和8年3月30日まで」に変更するものです。

閉会中の継続調査における改善要望を町長に提出



3月17日、令和7年2月から令和8年1月における各常任委員会の閉会中の継続調査審議結果及び議員討議を踏まえて委員会の意見を町長へ提出しました。

●産業団地造成

若者の益子町からの流出を考えた時、雇用の場の存在が絶対必要である。若者に雇用の場を保障するため専任担当者を配置し、早急に産業団地造成に当たりたい。

栃木県企業立地促進協議会の協力を得たり、SHIBUYA QWSを活用したり、あらゆる方策を駆使して、企業誘致の実現に当たりたい。



●悠和館の管理運営

平和のギャラリーのビデオ・写真・説明文等複数準備して、観光客に新鮮味を与えるため適宜入れ替えられたい。

悠和館の宿泊の再開について、益子カンパニーとの提携や益子町・ましろラボ・栃木銀行の三者協定の有無にかかわらず、収益の増加を上げるため早急に進められたい。



●学校給食

児童・生徒、教諭の学校給食に「温かいごはん」の提供を図る施策に取り組まれたい。

食物繊維やビタミン・ミネラルが豊富に含まれる玄米と白米を混ぜるごはん食の研究をされたい。



●認知症対策

認知症の発生と進行を遅らせることは「健康寿命延伸」に欠かせない施策であるので、「コグニラダー」など脳を若げえりする運動の継続開催と情報発信、医療介護連携システムを活用した認知症対応型施設及び基準緩和通所型（デイサービス）などの施設設置を図られたい。

総務産業
常任委員会

6項目

- 悠和館の管理運営 (12/24)
- 関係人口「大人の地域留学」(1/29)
- ふるさと納税 (1/29)
- 移住定住 (1/29)
- デジタル通貨「ましコイン」(2/26)
- 空き家対策 (2/26)

1、関係人口

「大人の地域留学」

【審議結果】

大人の地域留学とは、20代の若者が一定期間益子町に滞在して、仕事や暮らしを通じ、まちとの関わりを深める制度であり、本町では「若者に選ばれ、若者が活躍できるましこ」として、令和7年1月から関係地域・関係人口の創出に向けた制度設計に着手し、10月から運用を開始した。持続可能な共生・共創社会の実現のため、益子町とより深い関係性を築きたい若者に挑戦の機会を提供することで、仕事と暮らし両面から関係人口の質的深化と量的拡大を図り、将来的な移住・定住につなげていくとしている。

関係地域・関係人口創出事業の全体像の三本柱として、大人の地域留学(益子町編)・益子町オフィシャルアンバサダー制度・益子町DAO(仮)が挙げられる。大人の地域留学(益子町編)としては、最初から移住・定住を求めず、「留学」と称し参入のハード

ルを一時的に低くして、若者の流入を強化する。期間は1年間もしくは3ヶ月(インターン)の2コースからの選択制による滞在として、滞在期間や活躍の多様化を図る。事業財源は地域おこし協力隊制度を活用し、都市圏に居住する20歳から29歳の男女を対象とし、益子町の多方面における人手不足・担い手不足の解消とともに社会的貢献・経済的貢献等を想定している。社会的貢献としては、地域との関係を考慮しながら、地域の諸行事・活動への参加、経済的貢献としては、オフィシャルアンバサダー制度と関連させたふるさと納税等が考えられる。

具体的な留學生の状況は、第1期(R7、10月～3ヶ月)・第2期(R8、1月～3ヶ月)合わせて、目標人数6人のところ事前相談会11人、応募者6人実績4人(2名辞退)という結果である。第3期(R8、4月～1年)(R8、4月～3ヶ月)の応募状況は、目標人数両方とも5人、事前相談会に25人、応募者に9人の状況

であり、現在も募集中である。地域留學生の活動は、週5日のうち1日は研修日とし、活動先はヒアリングに基づき事業所とのマッチングを行い受入先を決めている。受入先は25社挙がっている。住居はシェアハウスに入居しているが、生活支援金や家賃・光熱費等は地域おこし協力隊制度を活用(特別交付税措置10/10)することで活動先(事業所)や地域留學生に負担なく活動できる環境を整えている。生活支援金は月額99,000円となっている。

【委員会の意見】

地域留學生の採用にあたっては、20代という心身ともに不安定であり、動揺や葛藤の見られる時期でもあるので、確かなアドバイスを与えるなど親身になって寄り添い良質な人材の採用に当てられたい。地域留學生に対しては対応する全ての担当者が親切に接するとともに、住宅の確保や活動先への移動手段の利便性に努められたい。



教育厚生
常任委員会

4項目

○高齢者の貧困と虐待 (12/24)

○認知症対策 (12/24)

○町づくり発表会 (1/29)

○スポーツ振興 (2/26)

1、認知症対策

【審議結果】

認知症発生のリスクが高まる年齢層は、一般的に80歳以上といわれているが、それを含めた75歳以上の後期高齢者の人数は増加傾向のまま推移している。そのため、認知症予防に向けた認知症への理解・周知を促進し、認知症になる前からの予防や重症化を防ぐための早期発見・対応のほか、認知症になつてからも医療機関や介護事業者など様々な機関と連携を図りながら、本人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、認知症対策を推進している。

認知症予防施策は、住民主体の通いの場や、心身の維持向上が出来るような教室を開催し、人と人とのつながりを通して、生きがいや役割をもつて生活できる地域づくりを進めている。これらの事業に取り組むことで、認知症予防を推進している。また、住民主体の通いの場などへ専門職を

派遣する支援もしている。

健康づくりの推進では、保健センターが中心となつて取り組んでいる健康相談、健康教育、健康診査、訪問指導などを通して、健全な生活習慣を身に付け、加齢による心身の衰え（フレイル）の防止や、生活習慣病の予防・改善の取り組みを行い、高齢者の介護予防、健康づくりを推進している。

地域包括支援センター職員は、「認知症地域支援推進員」も兼ねている。相談内容に応じ医療・介護事業所と連携し横断的・多面的支援を実施する中、権利擁護相談では、認知症などにより判断能力が低下している方への成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用支援などに繋げている。

「認知症対応型施設」の令和6年度までの利用人員推移では、通所介護は増えているが、共同生活介護は減少傾向にある。減少の理由ははつきりしないが、認知症と判断されていることが前提であること、施設入所の費用負担等も

関連があると考えている。

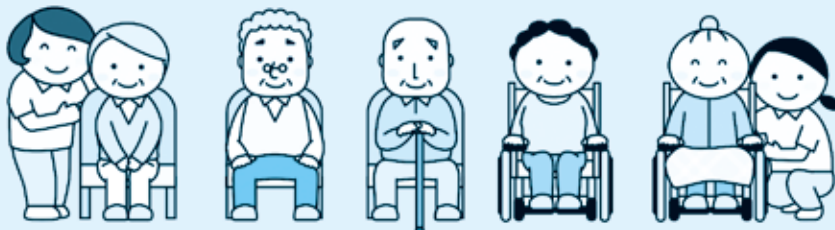
認知症の理解促進として、地域包括支援センターにある「認知症ケアパス」にて、「げんきDayクラブ」や「認知症サポーター養成講座」をはじめ、予防・支援施策などの説明をしている。

脳の若返りとして注目されている「コグニサイズ」は、町内3ヶ所で自主教室（コグニ教室）を開催している。今回の常任委員会で、地域包括支援センター職員に指導をお願いして、コグニサイズを体験した。

【委員会の意見】

認知症の方の幅広い居場所づくりと、医療・介護のシステムが連携する認知症対応型施設、例えば「基準緩和型（サロン型、身体トレーニング型など）デイサービス」などの施設の検討をされたい。

※「コグニサイズ」とは、体を動かしながら脳を鍛える運動です。



町民の声

高見 一也さん



人が集まる町、益子へ

鶏足山塊の辺縁で、虫や鳥の声を聞きながら、レザー製品を制作しています。休日は息子と昆虫採集や釣り、ゲームをしています。

私は、益子町長堤にて栃木県が誇る素材「栃木レザー」を使い、お客様一人ひとりに合わせたセミオーダーのレザー製品を夫婦で制作しています。益子に移住してから8年、自分の夢だった工房と店をつくり、自営業を営みながら二人の息子を育て、田野小学校PTA会長として学校や地域と関わっています。

PTA活動の中で、生徒数の減少が顕著であり、心配する保護者の声を多く耳にします。これは学校だけでなく、町の将来に関わる大切な課題だと受け止めています。そして子どもたちの未来を思うと、ただ受け止めるだけではいけないと強く感じます。

一方で、私は希望のある光景も目にします。私の店には東京や神奈川など都心から訪れるお客様も多く、その中で「手仕事が好きで年に数回は益子に来ている」「いつか益子町で工房を持ちたい」と話してくださる方も少なくありません。

また、レザーワークショップで益子町内の学校や幼稚園で子どもたちに、ものづくりの楽しさを伝える場では、子どもの自由な発想や、ものづくりが上手な子どもから学ぶこともしばしばです。益子町へ移住したいと考える作家活動中の方や、手仕事の才能がある益子の子どもたちの姿を実際に目の当たりにして、陶芸をはじめめとする手仕事の文化が根

付く益子町には、人を引き寄せ、町を作る力があると感じています。関係人口創出事業や移住定住政策、子育て支援によって、ものづくりを志す人や手仕事で生きたいと願う人が、この町で挑戦し、工房や店を開き、根を張り、子どもを育てる。そんな美しい循環が続いていくように、小さな工房の立場ではありますが、私たち夫婦の技術や移住経験が少しでもお役に立つことが出来るのであれば惜しみなく貢献したいと考えています。そして「つどい、ともに輝くまち益子」をつくる町民の一人として、子どもたちの声にぎやかに響く益子町の未来に力を尽くして参ります。



Crafty 店内

あなたも議会を
傍聴しませんか

次回 **6月2日(火)**
開催予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。



議会報告会並びに 意見交換会を開催

広報広聴
常任委員会

令和8年度当初予算についての報告会と皆さんの意見交換会を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

◆令和8年6月21日(日)

午後2時～午後4時

- ・議会報告会 (午後2:00～2:30)
- ・意見交換会 (午後2:40～4:00)

◆会場/益子町中央公民館研修室にて

今回の意見交換会の

テーマは「子ども子育て支援策について」
です！